伯剌西爾時報

發行所 伯西剌爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
社長 黒石清作
購讀料（一ヶ年 六十圓 半ヶ年 三十圓）

珈琲 サントス四級 十キロ 二四、三〇〇 リオ七級 一九、五〇〇
爲替 對日 郷里送金 四、五〇〇 五、五七〇
對米 一九、七七〇 八〇、〇一〇
對英

スエズ エジプト 重大危機に直面
英政界に不滿の氣高まる
イーデン外相糺彈の俎上へ
アルバニヤ再び伊太利へ

【倫敦十七日同盟】北部キレナイカを簡單に樞軸軍の掌中に委ね、英帝國の大動脈スエズ運河を危險に曝した事に對し、英國政界乃至言論界には不滿の空氣が漲り、復活祭の休暇明けと共に英國下院に於て相當質問が出ると見られるが、デーリー・メール紙は十七日の社説で、獨裝甲師團の急激な進擊により、エジプトが重大危險に曝されるに至った事を率直に認め、更に次の如く論じてゐる

「デーリー・メール紙」社説

バルカン、リビア兩戰線について檢討を加へる時期が來れば、イーデン外相ジル參謀總長の活動について質問が出やう、平時に於ても政治使節は尼介視されるが、戰時に於ては國家的危險を醸す事がある、イーデン外相は判斷の正しさよりも、感情的な理想主義で著名だが、戰爭の冷酷な現實に當面し、イーデン外相位ひ不適當な顧問役は想像出來ないメール紙のイーデン外相攻擊が、如何なる程度まで政治的傾向を持つてゐるかは判らないが、現實と遊離した諸的論が、英國政府の極東政策、その他を誤つた事は衆知の事實であり、カイロを聯邦基地とする外交行脚が將來の首相と目されるイーデン外相の政治的問題に關聯を投じた事は爭へない

獨逸經濟使節團來る
◆二十六日 着京豫定

【東京十八日同盟】オールタート獨逸經濟親善使節來朝に關する四月十八日情報局發表 目下來朝の途にあるオールタート氏を首班とする獨逸經濟親善使節一行六名は、十九日新京に立寄り、滿洲國當局とも懇談の上、二十三日朝奉天、翌二十四日山海關を經由、二十六日午前七時半東京着の豫定である、使節團一行の使命左の通り

團長オールター氏（四ケ年計畫部顧問兼オランダ銀行監督官）
フォス氏（外務省通商局極東課長）
フォン・スピンドラー氏（經濟省極東關係課長）
ブーフワルト氏（經濟省極東關係課長）
ネルソ氏（食糧省極東關係課長）

ローズブルフ氏（ライヒスバンク代表）

獨逸經濟使節團來る

獨使節團長は極東通の專門家

【東京十八日同盟】獨逸經濟使節團長官に被選され、一九三八年以來ダーリング大獨逸顧問の下に經濟四ケ年計畫遂行を指導する四ケ年計畫部顧問長となり今日に至つた、獨逸の經濟、

米・外人の兵役服務排斥
ハル長官 法案議會へ提出

【華盛頓十七日發】（R電）ハル國務長官は本日、議會へ在留中の外國人兵士等は義務を拒絕し、國人の兵役服務排斥法案を提出した、理由は米國憲法に違反して統制を亂すもの多く、メキシコ人の如きは殊に甚だしいからであると

日本公使泰自、外相と懇談

【バンコック十七日發】R電 日本公使は本日泰國首相、外相と約一時間兩國關係に付懇談を遂げた

英の敗北今や必然
無駄な援助は中止せよ
リンドバーグ大佐シカゴで獅子吼

【シカゴ十七日同盟】リンドバーグ大佐は十七日、シカゴ市民大會の席上、援蒋は不可能であり、米國はこれを中止せよ と次の如く演說した

現在米國がその資源の一切を投じて英國を援助したとしても、米國の力では戰爭に勝つ事は出來ない、英國はもはや絕望的狀態にある、米國がその工業力の全部を擧げてやつてみたところで歐洲大陸に侵入するに充分な丈けの兵力を送る事は現在はもとより將來と雖も出來ないであらう、現在迄の處、英國は大會戰の都度敗北を喫し、然もその殘骸船は重大なる損失を蒙つてゐる、英國の地理的、經濟的地位は大戰の初期に於ては非常に有利なものであつたが、現在の飛行機と潛水艦の時代に於ては、それと逆比例して不利である、米國が英國に對して武器を與へた事は全然失敗であつた、何となればそれはそれだけ米國の地位を弱化せしめるものであり、然も歐洲の流血をも、戰爭の擴延をも變ずしめる事が出來ないからである、米國は現在の能力を維持してゐる限りに於て、自國を防衛する事は出來る、隨つて我々は米國の援助を歐洲の戰爭地域にやつてはならぬし、近代的軍用機を海外に送る事を止めねばならない、英國が崩潰する事は世界の悲劇であらうが、英國は戰爭の開始以前から既に敗北してゐるのだ、余は米國民が戰爭介入に沈默する事を希望してやまぬ

獨軍の鋭鋒に居堪らず
英國 ギリシヤ 聯合軍敗走また敗走
ギリシヤ軍當局發表

【アテネ十七日同盟】獨軍と英國、ギリシヤ軍の最後の決戰はエーゲ海岸からプドリア海岸に至る約經二四十キロの「戰線」に亘つて展開されてゐたが、聯合軍は死の防戰も効なく獨軍の猛擊に潰えつゝあり、十七日ギリシヤ軍當局は此の事實を認め、次の如く發表した

ギリシヤ軍は獨軍の電擊的攻擊に依り敗北を喫し、漸次

獨逸更に東漸するか
駐土獨大使近く歸國
ヒ總統と會見協議

【ストックホルム十七日發】（TO電）支那印度國境の由

【ベルリン十七日發】（TO電）

獨機潛艦に襲擊され
英商船隊の擊沈頻々

【ベンコック十八日同盟】泰國政府は、內閣改造說は無根事實無根だと發表した

獨逸・エジプトに注目
英勢力一掃のため 或は攻擊開始か

【伯林十八日發】（TO電）獨逸の目指す處は英人の在る處、英國勢力の殘存してゐるものの徹底的排除一掃にある旨を發表した

獨逸經濟使節團來る
極東通の專門家

獨逸經濟使節團來る
豫定

獨逸經濟使節團來る
豫定

獨逸經濟使節團來る
豫定

翼賛會人事も略々決定
近く新運動へスタート
五月中に中央協力會議召集

【東京十八日同盟】政翼會は、人事を決定し、五月中に中央協力會議を召集して確乎たる新運動を展開する事になつた

各地方長官は支部長

【東京十八日同盟】大政翼賛會は、地方長官を以て任命したので全人事は殆ど表面上の常任總務に總務だけとなつたが、翼賛會は近くその留任を求めた上、五月中に中央協力會議を召集して確乎たる新運動を展開する事になつた

【東京十八日同盟】政翼會の人事は、本部各綱部の總務を決定し、地方翼賛運動の中核となるべき地方支部長は過般の地方長官會議で、近衛總裁から地方長官を以て任命したので、人事は殆ど表面上の常任總務に總務だけとなつたが、翼賛會は近くその留任を求めた上、五月中に中央協力會議を召集して確乎たる新運動を展開する事になつた

中央協力會議

大政翼賛會中央協力會議は、来月東京に百數十名の委員を定めるである

靖國神社大祭

靖國神社參拜の遺族は、臨時事變下五柱目の御兵檢査が、十六日より全國一斉に開始された

徴兵檢査始る

【東京十七日同盟】第一乙種の徴兵檢査は十七日オムスクに於て開始した

生糸相場

【東京十七日同盟】生糸後場寄り一五二九、一五二七、一五二八、一五二九、一五二八、一六三一

松岡外相オムスク着

【東京十八日同盟】松岡外相は十七日オムスクに着

大橋外務次官
首、陸、海三相を訪問

【東京十八日同盟】大橋外務次官は十八日官邸に近衛首相、東條陸相、及川海相を訪問、緊迫せる欧洲諸情勢、就中日ソ中立條約妥結後の諸情勢に就て詳細報告、一時間に亘り懇談を遂げて辭去した

南支方面最高指揮官 澤本中將
海軍次官に榮轉
二十二日入京參内の豫定

【門司十八日同盟】南支方面海軍最高指揮官として六ヶ月善戦ルート遮斷を初め南支作戦に偉功を樹て、海軍次官に轉じた澤本頼雄中將は、副官眞田中佐を帯同し、十八日午後一時下關入港の高千穂丸で歸還した午後八時半下關発特急で東上、途中熱海に下車、三泊の後、廿二日午前入京參内の豫定である

上海共租特別納税者大會
日・英・米三國の妥結成る
參事會議案も可決

【上海十七日同盟】租界覇權の構成に關する議案を附議した上海共同租界特別納税者大會は、十七日開催され、日、英、米三國相互間に妥結を見た臨時參事會の構成に關する議案を附議し再檢討の結果、滿場一致原案通り可決、外國側參事會員日英米各三名、獨、オランダ、スイス各一名を正式に承認し會員四名の補欠も近く決定の運びとなつた、御支那側參事會員に任命した

戰陣讃
假橋支へて

【蘇北東台附近にて】

現地ストック

無償供給出を許さざる日本政府の方針の下に、在日本邦商の手に依る現地ストックはあり得ざる事である。依つてその方法としては現存する内外人の輸入商社と提携の下に、ある程度のストックを其へ置く工作に出づる要あり、その商社が既存のものたるとすれば新商品の擁合、日伯共榮のものであり、伯國法人であり、伯國資本を利用するが勿論望ましく、その資本の一部協力としては、前に第二章金融機構の項に述べた通りであつて、本邦からの資金の輸出なくして、ブラジルに關する目的は達成され得るのである。

見本と型錄

此の間題にも日本が獨逸、北米もある、殊に實物寫眞をフォト・グラビアにしたものなど良い

見本は潤澤たるべしとは、一個の見本を貧弱な包装で送り來るなど、意味を爲さぬとの謂だ。獨逸では先づ、相當量の見本を送りつけ、その品が仕向地の市場向きならざる擁合、見本賣り上で一部の代金の回收をすら計つて居る。つまり不向の見本でも、その全部が損失にはならないのである

見本と實物の異る事は日本少數商の等閑視れ去らざる慣習であるが、此の點は政府統制の徹底化に俟つ他はない

國際商業德義

私は日本人の德義が低いとは毛頭考へて居ない。對外的に日本國の儀禮及び操守は世界一とさへ信ずる。國人階級も吾れ等の弱めて爲正を要する點である。一宴會、一茶會に於て邦人が當に群をなして油と水の混ざらざる如く、外人群の外に超然たる姿勢は、外國に住む者の境しく見受くる所のものである

結論

急潮の勢で進み行く經濟界の流れ、それに棹さす船頭の役目は重く貴し、常に左右を眺望しつゝ、淺瀬も岩角も決して見逃してはならぬ。つまり終へざる注意を四圍の情勢に拘ひつゝ動く、それが吾等の目下の態勢でなくてはならぬ

五割一の片貿易の是正に乘り出し、更に增進を目指す時ブラジル貿易には總ての角度からの研究とその實行力を具備せねばならず、徒らに躍進意識や職掌ひに種術を受けてはならないのである。その間官私の別なく、虛心坦懷一つに一度樹てたる目標に向つて邁進あるのみと言も人も信じたいのである

日伯片貿易是正論
（終）

渡が世界の何れよりも劣勢だとは考へたくないが、國際商習慣の不通不慣よりして、往々赦顧塡へざる事を敢てして怪として省みざる向きが吾等の間にある。その一つに、手紙の返事を書かない慣癖を指摘したやう。自經的に見本を送り値段を呈示し、諾往文希望の人あり、問合せ又は往文の發行ともなつて、梨の礫の待てども返事せざる向きがある、可能と不能とは時と擁合で止むを得んとしても一葉の端書でもよい、何とか言はねばならぬ筈だ。不精とか語學不通と云ふ言辭は此の擁合通ならぬのである。かくて國家も失ふ所多く、日本人一般への不信ともなる

序に書くが、邦人の外地員が外人との交際に拙なる事も吾れ等の弱めて爲正を要する點である。一宴會、一茶會に於て邦人が當に群をなして油と水の混ざらざる如く、外人群の外に超然たる姿勢は、外國に住む者の境しく見受くる所のものである

結論

急潮の勢で進み行く經濟界の流れ、それに棹さす船頭の役目は重く貴し、常に左右を眺望しつゝ、淺瀬も岩角も決して見逃してはならぬ。つまり終へざる注意を四圍の情勢に拘ひつゝ動く、それが吾等の目下の態勢でなくてはならぬ

五割一の片貿易の是正に乘り出し、更に增進を目指す時ブラジル貿易には總ての角度からの研究とその實行力を具備せねばならず、徒らに躍進意識や職掌ひに種術を受けてはならないのである。その間官私の別なく、虛心坦懷一つに一度樹てたる目標に向つて邁進あるのみと言も人も信じたいのである

蔬菜委託販賣
元家幸吉
聖市青物市場
バラッカ四九
自宅ルア、セーレス六四
電話 二一五五〇八

急募 見習 三名
ルア、ボンバストール
一二三一（番一七七番）
チンツラリヤ
ボンバストール
永谷
貸間アリ
台所附 三室
百五十ミル

安住の地、健康地、我等の理想鄕
ピリアニツトへ!!
ピリアニツト驛……セーラモレーナ驛
◎土地を御求めになるなら
是非一度好評嘖々たる
ピリアニツトの土地を御視察下さい
貴家は必ず御滿足を得られます
分讓地
ピリアニツト驛（市街地）
セーラモレーナ驛（シヤーカラ）（入植地）
土地の選定は躊躇せず今直ぐ
左記へ御問ひ合せ下さい
聖市シルヴエーラ・マルチンス街二七六番
日伯產業會社
C. Postal, 3329 · SÃO PAULO
北パラナ、ピリアニツト驛
杉谷茂一
Estação, PIRIANITO · S. P. P

ADUBO GUERREIRO
Com. de Agricultura, Imigração e Colonização
(CAIC)
中央事務所: São Paulo
R. Libero Badaró, 39
電報: CAIC
電話: 2-3105, 支線 46
重役 ANTONIO PRADO JR. HEITOR FREIRE DE CARVALHO. EDMUNDO NAVARRO DE ANDRADE
ゲレイロ肥料は農耕地に必須缺く可からざる優秀なる全要素を含有し、更に六一%以上の有機質を含み、土地に容易に融合して腐植土となる。有機質なくして沃土なく、化學肥料の施肥にも支障を來す。我肥料に就は左記の世界的權威ある諸大家が實證されたり。
亞熱帶地質研究家ドトール、パウロ・ベジヘレーロ(Dr. Paulo Vagelero)合理施肥技術大家カンピナス農事試驗場技師ドトール、テオドレッド・デ・カマルゴ(Dr. Teodureto de Camargo)前聯邦農務局農業化學研究部長ドトール、マリオ・サライーバ(Dr. Mario Saraiva)

ブラジル育ちの子供には
ブラジル出來の立派な
子供の園
一冊三ミル、一年卅ミル
發行所 時報社

正確 迅速
法律相談、翻譯、通譯、通信、金融投資相談、婚化手續、離婚手帖
其の他諸官廳役所への手續一切
相馬事務所
土地周旋（郊外・奥地）
聖市 フエリペ・デ・オリベーラ街二一番
七階五號室 郵函 四四一八
電話 二一七六〇九

名灸と鍼術
南米隨一として知られたる
マリリア市 郵函 パエスレーメ街三一
磯谷鍼灸本院

廣告
紀元二千六百年祝典記念章受付資格者調査ノ爲必要アルニ付有資格者ハ位階、勲等、功級ヲ四月末日迄ニ至急夫々管轄領事館ニ届出ラレ度シ
昭和十六年四月十八日
在サンパウロ大日本帝國總領事館
在リベロン・プレート大日本帝國總領事館分館
在リオ・デ・ジヤネイロ大日本帝國領事館
在パウルー大日本帝國領事館
在サントス大日本帝國領事館
在ベレーン大日本帝國領事館
在クリチーバ大日本帝國領事館

愈々樂しい收穫期には入りました
今年こそは待望のミシンを買ひませう
ミシンは安くて
キレイで性能の勝れた
國產インペリヤルミシンに限ります
伊藤商會
聖市 郵函 三一三二
電話二一八七八四

新地域分讓開始
聖市郊外
イタケーラ植民地
會社は既設地域が殆ど滿員の盛況を呈しましたので茲に新地域の分讓を開始致しました。新地域は今部マットに混はれ、アリカンブーバ河其の他の細流に潜ひ、地味肥沃にして、果樹、トマテ等の栽培及び養鶏等に適し、聖市への交通至便にして有望なる將來を有する關所なるを以て、親愛なる日本人諸君の奮つて入植せられん事を希望致します。
御照會は日本文で差支ひありませんから左記宛に
Cia. Commercial Pastoril e Agricola
R. Boa Vista, No. 127 · 1º. Andar · Sala, No. 105
Caixa Postal, 2740 · São Paulo

パウリスタ延長線スイサ耕地の土地
第二回分讓地として三千域ルツセリア市隣接地も、近日中に分割濟となり賣却開始致します
右御通知申上げます
地價 八百ミル以上、四ケ年々賦、無利息、外各所の土地
市街地、シヤカラ等々
マリリア市サン・ルイス街五六三、電話五一三三
中平三夫
谷本勝一
宮脇寅太郎

地權不確實の土地を御買入の上御惱みの方々多き今日、多年の經驗に基き御安心出來ますよう、絶對責任を以つて御世話致しますから迷はず御相談下さい
何時でも御視察の御案内致します

KITANO GALAN & CIA.
RUA CARDEAL ARCOVERDE, 2617
SÃO PAULO
パラナオーロ種芋
在庫品豐富
其の他各種類種芋
多少に拘らず御注文に應ず
北野ガラン商會
本店 聖市ビネイロス カルデアル・アルコヴエルデ街 二六一七番 電話八—二七六五
支店 リオ市 アヴエニーダ・ロドリーゲス・アルベス七九一 電話 四三—六七二一

PATRIMONIO IRACEMA
prorongamento de Alto Paulista - Registrado com sob. No. 18
Acordo com decreto lei Federal, 58
イラセマ植民地
アルト・パウリスタ延長線
位置
パウリスタ延長線工オ河の分水嶺に位置し
地接續地帶
四千八百アルケーレス（本年開
面積
區には多數の邦人入植者あり。
地主
ブラジル有數の大實業家、マノエル・ゴンザーバ氏所有の土地にして、地權、居住權共に絶對地主の保證付にて確實なる事は世間の通りです。
價格
五百ミルより一コントスまで、但しシヤカラ地區は一コントス五百ミルまで、四ケ年賦、無利息。
地質
當賣出し地區は、サンパウロ州内稀に見る肥沃なる、マサッペ・プレット地帶にて多角農に最適地、一見すれば何人も首肯する處です、百聞は一見に如かず此の素晴しい膨脹氣地帶の御視察を乞ふ！
▼イラセマ市街地
イラセマ市街地は數万アルケーレスの土地豐沃なる小地主の心臟部に位し、將來の大都市、郷二のマリリアを約
東されてゐます。
通は奥ソロ線とノロエステ線を百二十キロにて連絡する最短距離にてパウリスタ延長線との交叉點となります
地權及び新設市街地の登錄は新法令に依り登錄濟であります。◇詳細は面談の上
新法令
事務所 リンス市アベニーダ・マレシヤル グアスケス一一三 郵函二〇三番
師富榮
地方代理人 松竹重之 池松清
パウリスタ線總代理人 岸部美
郵函 青年會前
マリリア市 澤尾啓三 郵函一一三 電話二一八四
清水榮介 有田豐次郎
田中末吉 小橋清太郎
ノロエステ線リンス市 中熊一男
平塚一馬
カフエランジヤ 鍋島虎吉
アラサツーバ 白石次雄
變電線 井田甚吉
ソロカバナ線總代理人 南部五郎

優良撰品
見本必要の方は申込ア
時報

全國喜びに沸く
けふ！大統領の誕生日

けふ十九日は、ヴァルガス大統領誕生の佳き日である、首府リオ市ではチラデンテス宮廷内において盛大な祭式が行はれ、ゴエス參謀總長は四月十九日の國祭日の意義と大統領の偉大な足跡について講演し、當時ではけふの日を"青少年デー"と定めた旨布告して種々祝賀催し物が行はれるが、聖市でもパーロス執政官臨席の下に州廳に於て午後五時より嚴かに祝式を行ひ、市内各學校及び第二軍團管下體操學校生徒等祝賀式典生等はカルヴァーリョ大將指揮の下に堂々市中行進を行ひ今日の佳き日を祝賀することゝなつた、伯剌州統領は命をもつてこの意義ある日に聖市内二校、地方廿二校の小學校開校式を行ふ筈である

戰線の兵隊さん想へば
〝馴れぬ百姓も平氣〟
時局が生んだ眞摯な心構への新來者

自由に對しても確固たる認識と覺悟をもつて銃しくと戰ふ國民經濟統制の犠牲となつた轉失業者數十家族が新しく運命の鍬を振ゲブラジルの天地に求め、過日のぶたのすり丸で來伯したことは既報の通りであるが、その大部分が中産階級業からの轉業者であるから馴れぬ農業に從ふ彼等は皆「後悔何に過ごしてゐるであらう？」と、配耕の任に當つた海興で調査した處、何れも真剣な心構へで真摯な態度をもつて働いて居り、家屋の整頓、周囲の清潔等も際立つて目立ち特に上から紹介される依の一米伯の神秘傳の新を見てはホラ！　泥濘ここに、こんな無難な所はないと日々の生活、働きに傷み切れぬ希望をもつてゐるといふ彼等は一様に左の如く語る

聖戰、八紘一宇の大御心の實現に國家は總ゆるものを動員し、國民は總ての物心を以て眞實に奉り、海外事公博覽と副産を一切の生活に織り込み、物の不足、不も明かに、そして迅く各自職務のため働いてゐるのです、特に戰地の兵隊さんのことを想へば、銃後は不平一つ言へた義理ではありません、兵隊さん有難ふと眞摯な心構へをもつて働きつゞけて來た私達です、斯新しく出發する覺悟で伯國へ來ましても、その氣持をもつて働きます云々

蒐集家ひとしく垂涎の
「日本一の花」開く！
コロンビア原産の珍奇植物

（寫眞は咲いたマツグ
ニア・ムサイカ）

大阪府三島郡高槻町にある京大宮部園藝部で栽培する日本でもたつた二株しかない南米コロムビア原産のググマニアムサイカ（アナナス科植物）に花が咲いた、この植物は花が掘り拳をやゝ小さくした赤褐の塊は白黄色の多く垂落のもの、それに薔薇の数の色を出した變つたもので親川園藝主任も「わが國の熱帯植物界に於る近ごろの大收穫です」と自慢してゐる

大統領に國旗贈呈！
ツバンの全邦人が示す祝意

バ新長官ス氏を通じて、大統領宛て三線ツバンから米半方のパストス移住地產組合を以て製した伯國大國旗の報道を聞き星した、この贈呈式は去る十六日ジョルチ岡崎氏の自邸で植民者一同參集の下に行はれた、先づ岡崎氏は、大統領誕生日の慶びを述べ、全日本人が安住し得る事を感謝し大國旗の大統領宛て傳達方を市長に懇請した、次でエレナ岡崎、イノ平井、モイオラ八代、ヂアレウ伊藤の諸氏の手に依つて大國旗は市長に手交された

南米選手權大會
籠球戰開く
ブエノス市メンドサに於ける

南米籠球選手權大會は、昨十八日夜から盛々熱戰の幕を切つて落した、伯國代表選手は第一回戰に於てチリー選手を破ふに勝し、必勝の意氣を以てこれに當つたが、未だ戰績詳細は不明である

これは不思議？

客が增えても儲からぬ
リオ市の電車とバス
從業員共謀のカスリ盜りと判明

數日前リオ市ライト會社は警視廳管轄の電車バスの數線が、都市の膨脹と人口の增加による乘客の激增にも拘らず、その收益が減少してゐるといふ矛盾せる事實を陳述取調べを要請した處、警視廳當局は綿密の調査により車掌、運轉手、監督等が共謀の上不正行爲をはたらきその被害高數百コントスに達せること判明し、既に百〇九名が檢擧されたが取調べが進捗するにつれまだ〳〵犯人が增加する見込みである、ライト會社同標カリース會社、ルス、エ、フォルサ、ド、リオ會社等もこの種不逞從業員の爲め莫大な損害を蒙りつゝあるといはれる

「こんな術もある」
前から何かと話しかけ後からコッソリ盜む

ソロ線ブ・ブルヂンテ市生産商赤木氏方へ去る十四日午後七時頃みすぼらしい黑人女が來て、折柄留守居中の女中さんに何かと話しかけ肉も買はずに立去つたが、翌朝赤木氏が必要あつて金を取出さんとした處二コントス余が紛失してゐるのに氣付き慌て、室内を調べた處、大きな足跡を發見、盜まれた事明らかとなつた、早速警察に届出で嚴探中

東洋民族を對象として
パナマ政府閉出計畫
邦人既に引揚げ敢行？

東京外電として傳ふるところによれば、パナマ共和國在住の同胞八百名は、國際情勢の複雜化から同國に居住することが困難となり、去る十五日運河口を離した商船ぶえのす丸に便乘して母國へ向つて引揚げたといふが、これが事實か否かは未だ不明であるが、それを裏書きするものに、質易中央會人電として次の如く報してゐる

日本パナマ國際貿易で外國人の商工業經營に關する法案が審議されてゐるが、該法案は政府の國家的綜策の現れで、用來得る限り企業經營をパナマ人の手に渡さうとするもので、この對象は主として日本人、支那人、インド人、近東人で、大部分營業不能となるべく、すでに支那人、インド人はこの不安のため店舗を賣却するものが續出してゐる、該法案通過は確實とみられるかくては多年努力經營した邦人は、いづれも引揚げねばならぬことになり、既往數年間は一朝にして費失するだけでなく、この種政策が中南米諸國に波及する虞れあるやも知れずとされてゐる

館員の死傷
ロンドン空爆の獨機最後の一彈
伯國大使館に命中!!
書類整理終るや火災起す

【リオ特電】ロンドン駐在伯國大使館より外務省に達した報によれば、昨十八日の獨逸空軍ロンドン爆撃は獨逸を極め、その最後の爆彈は伯國大使館に命中、同建物はもに館員は後を顧して車要書類持出しに努め、大體整理が終ると同時に建物は火災を起した、館員ひとりもモニス・デ・アラゴン大使及び其他館員一同は無事であつた

雜記帳

◇目下南米諸國親善飛行の途にあるマック・コイ將軍の指揮する北米のグルマン第廿一號機は、リオ市時間十八日午前十時聖市コンゴーニャス飛行場に到着、けふアスンソンへ向け出發した

◇大阪YMCA海外協會では去る三月十四日から六月十五日迄三ヶ月の期間で「中南米實業視察團」を編成した

◇目下東京に在つて日本語の研究に没頭してゐるルイス・アントニオ・ピメンテル氏は、南米諸國で有名な詩人を日本語に飜譯して、近く發刊の運びであるが、南米の詩人が日本語に飜譯出版されるのはこれが最初である

◇

西語版ブエノス支店代理人A・I・デ・ソウザ氏（伯國人）は最近百數十頁に亘る「日本及び極東を描寫して」と題する一册を編刊した、著者は長年日本に居住した人だけにその内容は豐富で一般から絶賛を受けてゐるが伯國とも關係の深からぬ人物であると

◇

伯國のフェイジョン産量は世界第三位で、三九萬度の輸出高は四千二百八噸、四千七百六ヶ所、前年度に比し大增産を示した、主なる輸加國は、メキシコ、ルクサンブルグ、ドイツ、スエーデン等である

◇

去る十六日サントス港を出帆し獨逸ありぞな丸は翌日無事リオに入港した

米の市場調査團
けさ空路着聖

十二日午後ブエノス市から來着リオ市に到着した北米の産米市場調査團一行は、本日午前十時リオ市より空路コンゴーニャス飛行場に到着の筈であるが、日曜日午前八時四十五分發別列車でカンピーナス市に向ひ農學院サンタエリーザ農場、シャバド農場を訪問シュラスコの饗宴を受ける筈である、團一行は同日午後二時聖市の宿舎に入る

◇

◇

◇

Redação — Rua Fagundes, 190
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director Masahiro Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
" Semestre ... 30$000
Numero do dia .... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO - SABBADO 19 de ABRIL de 1941 — DIARIO Nº 2458

Declarado "Dia da Juventude Brasileira" a data de 19 de abril

SERÁ BRILHANTEMENTE COMMEMORADO EM SÃO PAULO O ANNIVERSARIO DO SR. PRESIDENTE GETULIO VARGAS

O sr. dr. Adhemar de Barros, Interventor Federal em São Paulo, tendo em vista o caracter, eminentemente nacional, do dia 19 deste mez, em que se commemora o anniversario do sr. Presidente Getulio Vargas, baixou a seguinte resolução, sob o n.º 83:

«Considerando que a data de 19 do corrente assignala a passagem de mais um anniversario natalicio do exmo. sr. Presidente da Republica, que se tornou credor da admiração e da estima de todos os brasileiros pela sua brilhante actuação politica em pról do bem estar do povo e do engrandecimento do Brasil;

Considerando, pois, que essa data constitue motivo de justo jubilo civico para os filhos de todos os Estados da União, muitos dos quaes já determinaram festas commemorações para o seu transcurso;

considerando, tambem, que o povo de S. Paulo, que tantos e tão reaes beneficios tem podido colher do seu trabalho, que se processa num ambiente de paz, de ordem e de confiança assegurado e defendido pelo governo federal, deseja, muito justamente, á semelhança do que vem fazendo os irmãos das demais unidades federativas, render ao eminente Chefe da nação, naquella data, o preito de sua alta admiração e do seu profundo reconhecimento:

considerando, finalmente, que seria, por certo, muito grato ao benemerito Presidente Getulio Vargas, ver assignalada aquella ephemeride por um homenagem que visasse exaltar, tambem, uma de suas mais notaveis patrioticas realisações, — aquella que organizou a Juventode Brasileira, com o objectivo de crear uma consciencia nacional para a mocidade do Brasil, moldando-a, a luz dos bons ensinamentos, para que, robustecida physicamente, possa desempenhar-se, amanhã, com pleno exito, da tarefa de proseguir na obra de reconstrucção nacional do paiz e de defesa, de suas tradições e soberania.

RESOLVE

Em homenagem ao exmo. sr. Presidente Getulio Vargas, fica decretado «Dia da Juventode Brasileira», em todo o territorio do Estado de São Paulo, a data de 19 de abril, commemorativo do anniversario natalicio de sua excellencia».

PROGRAMMA DE HOMENAGEM

Associando-se ás homanagens que serão prestadas ao sr. Presidente Getulio Vargas, por occasião da passagem do seu anniversario natalicio, o governo de São Paulo, por intermedio do Departamento Estadual de Imprensa e Propaganda, organizou um programma de commemorações que constituirá uma eloquente demonstração de carinho com que é tido em nosso Estado o sr. Presidente da Republica.

Como já foi noticiado, o sr. Interventor dr. Adhemar de Barros, commemorando a data, inaugurará, no interior do Estado grupos escolares nos seguintes municipios: Annapolis, Campos, Campo Largo, Sorocaba, Itapuranga, Pariquera-Assu', Pilar, Piquete, Guararapes, Registo, Vargem Grande, Xitirica, Una, Araraquara, Cerqueira Cesar, Estação Franca, Palmital, Pedregulho, PPiraju', Prata, São Miguel Arcanjo, Jambeiro, Oleo e Santa Barbara, e nestac apital, «Godofredo Furtado», e «Alcantra Machado»,

Alem disso alim de homenagear especialmente a tara aniversaria do sr. Presidente Getulio Vargas, oSr Adhemar de Barros, interventor Federal em S. Paulo, baixou uma resolução declarando «Dia da Juventude Brasileiras, em todo o territorio do Estado o dia 19 de abril.

O programa a ser executado é o seguinte:

A's 10 horas — Missa de graça na Basilica de São Bento, com a presença do Sr. Interventor dr. Adhemar de Barros, de alas autoridades federais estaduais e municipais.

As' 16 horas — Grande desifle pela avenida São João, com o concurso de alunos das escolas secundarias e superiores e das organisações esportivas.

A's 21 horas — Sessão solene no Teatro Municipal. Nessa solenidade abrirá o discurso de abertura o sr. Interventor dr. Adhemar de Barros. Depois, pronunciará uma conferencia sobre a personalidade do sr. Presidente Getulio Vargas, o Ministro GGustavo Capanema, que para este fim virá especialmente a esta capital.

Partida do Ministro da Educação para São Paulo

RIO, 17 (Pelo telephone) — Em carro especial, que partiu desta capital as 22 horas, seguiu para S. Paulo o dr. Gustavo Capanema, ministro da Educação, que viajou em companhia de sua exma. esposa e de dois filhos.

Integram a comitiva ministerial as seguintes pessoas: dr. Gastão Soares de Mura, official de gabinete do ministro a sua exma. esposa; dr. Sousa Campos dr. Victor Nunes Leal, chefe da Documentação do Ministerio da Educação; o presidente da directoria Central dos Estudantes do Brasil, sr. João Neder; Faculdades de Direito da Escola de Engenharia, da Faculdade de Medicina, Odontologia, Chimica, Philosophia, Educação Physica, Musica e Pharmacia; senhorita Dorina Campos filha do ministro da Justiça, dr. Francisco Campos, e varios directores de agremiações estudantinas cariocas. Seguiram tambem os drs. Flavio Migue de Mello e Pereg ino Junior, que irão tomar parte no Congresso de Saude Escolar.

Na capital paulista, o dr. Gustavo Capanema visitará diversos estabelecimentos hospitalares e de ensino e presidirá, no dia 21, á inauguração do Congresso Nacional de Saude Escolar.

1.º Congresso Nacional de Saude Escolar

Conforme noticiamos, realiza-se hoje 27 do corrente a cerimonia inaugural do Congresso Nacional de Saude Escolar, com a presença de nossas principais autoridades.

O programa organizado para aquele dia é o seguinte:

As 9 horas — Missa promovida pela «Liga do Professorado Catolico»;

As 10 horas — Sessão preparatoria na Escola Normal «Caetano de Campos»;

As 15 horas — Inauguração da exposição de Saude Escolar na Galeria «Prestes Maia»;

As 21 horas — Sessão solene de Instalação do 1.º Congresso Nacional de Saude Escolar no Anfiteatro da Faculdade de Medicina. Esta sessão contará com a presença do interventor Adhemar de Barros, ministro Gustavo Capanema e sr. dr. Mario Lins, Secretario da Educação.

O traje para essa solenidade é de igor.

Censura dos annuncios de productos pharmaceuticos

RIO, 17 (Via tVasp) — Attendendo aos entendimentos promovidos pelo Syndicato de Proprietarios de Jornaes e Revistas do Rio de Janeiro, tendo á frente o seu presidente, sr. Osóas Motta, apoiado pelo sr. Lourival Fontes director-geral do Departamento de Imprensa e Propaganda, o presidente da Republica escolheu a commissão encarregada de opinar sobre o assumpto.

A commissão está assim constituida: dr. Roberval Cordeiro de Faria, designado para representar o Ministerio da Educação: dr. Aloyio de Castro, presidente da Academia Nacional de Medicina: dr. Osóas Motta, presidente do Syndicato de Proprietarios de Jornaes e Revistas do Rio de Janeiro: dr. Herbert Moses, presidente da A. B. I.; dr. Antenor Rangel, presidente da Associação Brasileira de Pharmaceuticos; dr. Raul Dutra e Silva, presidente do Syndicato de Industriaes de Productos Pharmaceuticos, e dr. Lycurgo Costa presidente da Associação Brasileira de Propaganda.

As reuniões da Commissão serão presididas pelo sr. Lourival Fontes.

Feriado nacional o dia 21 de abril

RIO, 16 — (Da nossa succursal, pelo telephone) — De accôrdo com a lei que regula o assupto, o dia 21 de abril é considerado feriado nacional.

O COMMERCIO DE TECIDOS DE SEDA

RIO, 17 (Pelo telephone) — As casas que negociam com seda, de accôrdo com o novo regulamento sobre a venda do producto, são obrigadas a fazer estampar na ourella da fazenda um a imbo caracterisando a especie do tecido que deve ser de seda animal ou vegetal, pura ou não.

Esse serviço, cuja execução está a carga do Ministerio da Agricultura, foi hoje iniciado com o registo dos primeiros estabelecimentos a se legarisarem dentro das novas normas. Segundo determina o regulamento, as casas registadas são obrigadas a collocar um carta? na virtina, annunciando o seu registo e divulgando os carimbos que differenciam as varias especies de sedas postas á venda.

Carvão de Pedra no Brasil

Melhorou em quantidade e qualidade. a producção de 1940

Aumentou e melhorou consideravelmente em 1940 a producção de carvão de pedra no Brasil. A qualidade do produto entregue ao consumo superou em média a dos anos anteriores. Quanto ao volumQe da producção, tomando-se por base o cálculo estimativo feito pelo Ministério da Agricultura para a producção de 1940, ou seja de 1.350.000 toneladas, verifica-se ter havido um acréscimo de cerca de 300.000 toneladas sobre a quantidade produzida em 1939, quando sairam das minas nacionais 1.046.443 toneladas.

O Rio Grande do Sul destaca-se entre os Estados produtores. Em 1939 coube-lhe a parcela de 840.795 toneladas e, no ano passado, sua producção ultrapassou a casa de 1.000.000 toneladas. No reefrido Estado, de 95 a 100% da producção procede das minas de duas grandes companhias: a Cia. Carbonifera Rio Grandensa e a Cia. E. F. & Minas São Jerônimo. Em 1940, produzia a primeira 550.564 toneladas e a segunda 507.839 toneladas, perfazendo um total de 1.058.403. Essas duas empresas forneceram, em outras palavras, 78% do volume total do carvão de pedra no Brasil, no ano findo. Já em 1939, haviam elas extraido 474.488 e 360.077 toneladas respectivamente, contribuindo juntas com 79,7% para a producção global daquele ano. Vê-se, assim, que em 1940, a Cia. Carbonifera Rio Grandense aumentou, em relação a 1939, a sua producção de 76.076 toneladas ou 16,4%, sendo o aumento da Cia. E. F. S Minas São Jerônimo ainda maior: 147.762 toneladas ou 41% mais do que no ano anterior. Oesforço empreendido pelas duas empresas acompanhou plenamente a expansão dessa indústria em todo o paiz.

Embora a producção brasileira se tenha elevado rapidamente nos últimos anos, tem decrescido relativamente pouco a importação de carvão estrangeiro. A razão está em que o consumo interno se tem mantido no mesmo nivel, ligeiras flutuações. Em 1938, produzimos 883.010 toneladas e importamos 1.046.996 toneladas, havendo nossas aquisições no exterior subido a 1.382.471 toneladas. No ano passado, conforme se assinalou mais acima, deve ter chegado a 1.350.000 a tonelagem produzida no pais. Apesar disso compramos de outros centros produtores 1.209.242 toneladas.

Se em 1939 pagamos pelas 1.575.996 toneladas importadas 263 mil contos, tivemos que dispender em 1940 a quantia de 288 mil contos para cobrir importação menor ou seja de 1.209.242 toneladas. O preço do produto no estrangeiro vem assim fomentar o desenvolvimento constante dessa indústria tão necessária à economica nacinal. Os problemas conexos, tais como o beneficiamento do carvão e a questão dos transportes veem sendo motivo de estudos de anos para cá. Reconheça-se porem, que muito já se tem feito ultimamente no sentido de encontrar soluções adequadas para diversas questões importantes.

Finalmente, deve-se notar que em 1F940 foram exportadas pelos Brasil 6.900 toneladas de carvão no valor de 819 contos de réis. Esse ano marca, praticamente, o inicio das nossas exportações, pois em 1939, somente foram embarcados para o exterior 500 quilos que, com certeza, seguiram a titulo de amostra.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

O AMBIENTE RURAL E O PROBLEMA DA SAUDE

RIO, abril — O ambiente rural modifica-se por toda a parte, em todo o mundo. E' a propria marcha da civilização que vae diferindo novas formas para os differentes sectores do complexo social.

O primeiro problema que se impõe resolver é o da saude. O nosso ambiente rural recente-se, em muitos casos, de bôas condições de salubridade. O problema, no entanto, não pode ser resolvido por antecipação, isto é, não pode sanear-se o despovoado, o deserto, de fórma que a obra de saneamento ha de acompanhar o povoador. Com os recursos modernos da technica e da sciencia, este problema simplifica-se extraordinariamente.

O proprio povoador é que se tornará o saneador por excellencia. Isto pressupõe uma educação apropriada do povoador. A habitação, desde o local escolhido para a sua construcção até o material e o conforto de que dispõe, é uma providencia preliminar que nem sempre se observa. Depois, ha os recursos de protecção que antepõem o povoador contra males e perigos evitaveis. E ainda assume importancia capital a alimentação, que muitas vezes deixa de ser a mais conveniente, além de se apresentar deficiente e impropria.

Dir-se-á que tudo isso exige recursos que escasseiam a muitos dos camponezes desbravadores do sertão. Sem duvida. Mas bastam os recursos financeiros. E' muito importante que sejam bem applicados e, para isso, torna-se indispensavel uma orientação acertada e pratica do sertanejo. Eis porque uma educação adequada influe como factor importante na transformação do meio rural, em suas condições de vida e de trabalho.

Procede-se, presentemente, a um inquerito geral, em todo o paiz, sobre essas condições de vida e de trabalho do meio rural. O inquerito possibilitará uma compreensão mais justa e mais abrangente de todo o problema, permittindo que as providencias sejam indicadas com maior exactidão. E uma vez que se torna imperativo modificar o meio rural, elevando o padrão de vida das populações sertanejas, impõe-lhes um novo conceito de viver, assegurando-lhes maiores possibilidades, o trabalho educativo irá ambientando esse sector do complexo social. E' um trabalho prévio que muito facilitará os empreendimentos que sejam determinados por um plano geral de acção administrativa.

O problema de saneamento depende muito desse trabalho educativo. Este problema é basico, porque interfere com a capacidade de rendimento economico e com a elevação do nivel social das populações. Não se poderá exigir a mesma somma de esforço do individuo esdemiado ou simplesmente enfermiço e do individuo sadio e vigoroso. Pouco, porém, se poderá obter sem uma prévia preparação educativa.

Em Minas Geraes, onde o governador Benedicto Valladares criou 26 circumscripções de saude em todo o Estado, a obra de assistencia e de educação sanitarias, poderá exercer-se mais directa e amplamente. Estas circumscripções estão chamadas a desempenhar um alto papel nessa obra que, por certo, se generalizará a todo o paiz com o objectivo de melhorar as condições de vida e de trabalho em populações rurais. Não é só por dever de humanitarismo que se cuida dessas populações. Nessa obra ha um sentido eminentemente social de valorização do elemento humano. E, dentro de sua funcção, os chefes de centros de saude serão collaboradores dos mais efficientes nessa tarefa de tão nobres intuitos e de tamanho alcance economico-social.

Fiscalisação do commercio de farinhas

RIO, 16 (Pelo telephone) — O ministro da Agricultultura submetteu á consideração do Chefe do Governo uma representação do serviço de Fiscalização do Commercio de Farinhas, suggerindo como medida de emergencia a approvação de uma circular a ser baixada pelo referido serviço, consubstanciando as providencias julgadas indespensaveis para a remoção dos inconvenientes verificados no reajustamento de 1939. Na exposição do titular da Agricultura o Chefe da Nação exarou o seguinte despaxo:

«A protecção ao trigo nacional exige a observancia integral das medidas adoptadas pelo decreto-lei n. 2.960 de 18 de Janeiro de 1941, e por isso determino que sejam exatamente cumpridas as quotas de acquisição e moagem, distribuidas pelo orgam competente aos moinhos do paiz.

O Serviço de Fiscalização do Commercio da Farinhas poderá na execução do disposto acima, permitir aos moageiros e contractar com moinhos que esse orgam determinar, a transferencia e moagem das respectivas quotas ou de parte destas, mediante negociações e entendimentos directos entre as partes interessadas.

Não intervirá o Serviço da Fiscalisação do Commercio de Farinhas no accôrdo entre as partes, limitando-se a sua acção a zelar para que seja mantido o preço official do trigo e fielmente cumprida a quota de moagem fixada».

農業 珈琲蔭大 一寸目先 アバカ

珈琲の蔭木作りの可否に就ては賛成側と不賛成側と盛んに議論して相共に下らず、論戰の現狀殷は机上の空論は無意味だから實績で行かうと、双方萬鋭に實驗中である。百の議論も實證に勝てないから、今に面白い報告が各方面から相次いで發表され、珈琲栽培界に新時代を劃することになりそうだ。此處に發表の先鋒を承つたもので一寸毛色が變つたものを報告しようこれが眼目は單に蔭木だけでは無く、同時に果物を產する木を目標とした點が面白い所で、隨分興味ある結果、アバカテが最も良いと斷定出來てゐる。研究者が良いと認識した理由は次の通り

一、成長迅速

二、葉の附き方が粗散して程良い日蔭を與へ、他の樹種の如く蔭過ぎることが無い

三、低い樹に小枝無く一定の高さの幹から夥ら樹枝を出

農經時報

生產者の申分

棉は安過ぎる

アララクアラの嵐

龍を得て翼を望む話を一つ、皆さん既に御承知の通り、今年の棉は聖市の相場は四十ミルから四十五ミルの間を往復し、下げても四十ミルに近づくと反發し、良くなつても四十五ミルで頭を叩かれ腰が抜ける不甲斐無い相場振りである、種々とこれには理由もあるが、最大原因は政府融資の下支へと輸送困難とストックが頭を叩くため往きつ戻りつしてゐる有様で……その日〳〵を暮してゐるのが現狀である

生產者側から此の相場は安過ぎる—何時でも高過ぎることは無いのであるが—大體利子附聖市渡し四十五ミルと値段を即極めたからこそ不シダラな話で、棉が安いの金利がどうの食費を掘へ等とマキナが叩く原因になる、聖市相場等と尼介なことは一切抜きして、今後は最急き騰貴しブレ四十五ミルで融資して欲しい、大體右の樣な要求がアラクアラ線の棉の本場から特上り、目下燃原の火のやうに擴大强化されつゝある北米棉は昨年九仙台であつたが、今年は十一仙三十もしてゐるのが根について仕方が無いためで、理屈があると聞へばありそう、無いと聞へば又申分が通りそうな、洵に尼介な問題の一つである

家禽コ先づ病徵

今年は四月に入つても雨量多く、濕度も高いため各地に家禽コレラが大流行の模様を呈しつゝある、その病徵を擧げると、先づ急に元氣となり、目をつぶり、羽を下げてうづくまる、人が近づくと少々は動くがすぐ又停止して動かず、良く見ると震えてゐる高熱に惱んでゐるためであつて、四四度近く發熱し、食慾なく黃色又は軟便を交えた下痢をやつてゐる

死期が近づくと冠が紫色となる、一羽こんな鶏が現れると

五、果物

六、珈琲と共たない

七、樹間は十米

と爆發的に流行し

れる恐るべき家禽病の一つで鶏、七面鳥、家鴨、鴨、家兎まで感染する

解剖による特長次の通り、心臟と肝臟が特に變質するから上面の外見と併行的に輕重の材料となる、即ち心臟の四周變質した出血部分があり、又黃色粘液で心臟が包まれてゐること、肝臟は色があせ無數の灰色小斑點を持つてゐること等で充分視察がつく

傳染の經路は第一保菌鶏、ウルブー、犬、人等が知らず知らずの內にやつてゐる、又病原は自然に對する抵抗力强大で感染鶏の骨髓に食ひ入つた菌は埋没後一ヶ月經過しても傳染力を失はない、種々豫防藥もあるが實効の點で滿足なものは皆無である、勝手の分らない鶏を外部から買はないこと、流行期には知人と雖もカウツ鶏舍に立寄らせてはならない、消毒を嚴重に行ふは元よりで、二%苛性曹達液が最良の豫防劑である

農家便覽

◆麗澤山マンチオカを植えても食ひ足らず他州から盛んに買ふ聖州は一寸想像の他である、余る處の驚きでない

◆ライ麥を青草とし牛に食はせると牛の驚口そうが治るといふ、眞實なら面白い話である

◆麥と同時に植える